

逢初川土石流の発生原因調査に関する地質調査(ボーリング)実施状況(12月13日現在)

地質調査(ボーリング)の目的

以下の点を把握するために地質調査(ボーリング)を実施します

- ・どのような地層が、どのくらいの厚さで堆積しているのか
- ・土はどのような特徴があり、どのくらいの強度があるのか
- ・地下水はどこにあり、どのように流れているのか



地質調査(ボーリング)でわかること

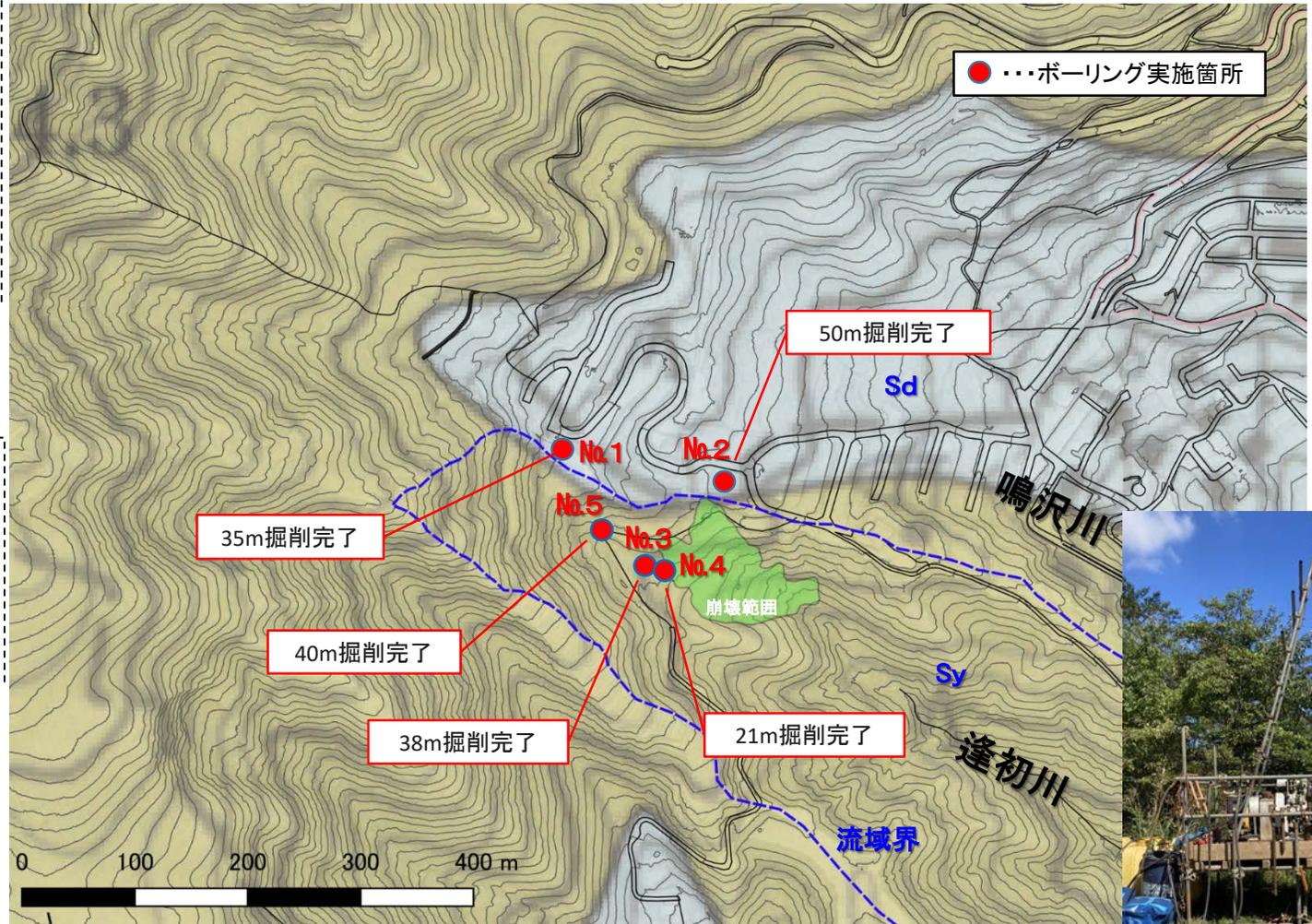
- ・ボーリングで採取した土から地層の種類と厚さ
- ・ボーリングで採取した土で各種土質試験を実施し、土の特徴や強度
- ・ボーリング孔の地下水位等から地下水の流れの方向

5万分の1地質図幅
熱海

 Sy: 中期更新世の安山岩-玄武岩質安山岩溶岩及び火砕岩

 Sd: 後期更新世-完新世の、山地緩斜面堆積物(礫及び砂からなる)

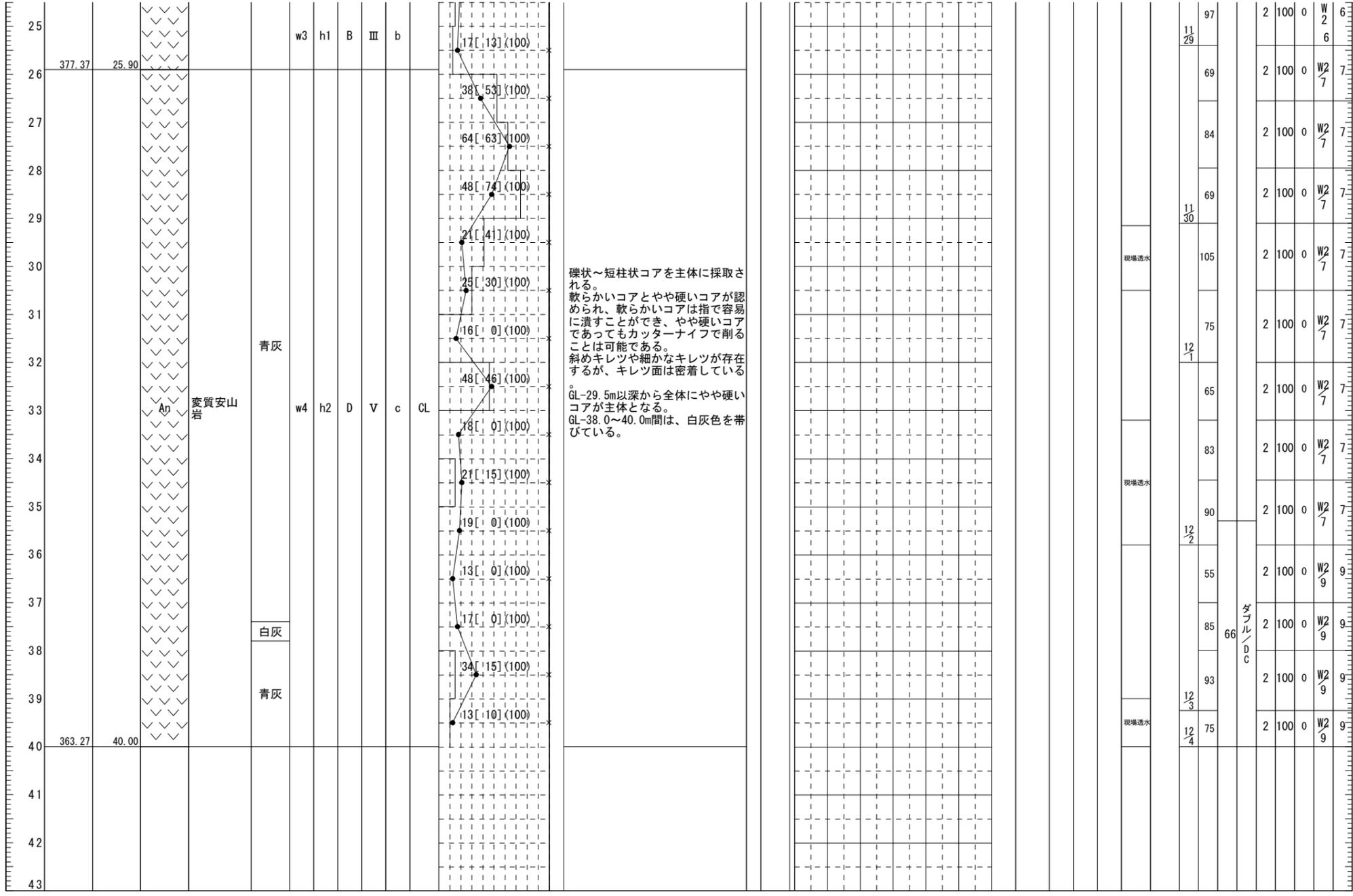
※Sdは岩戸山等の古い崩壊地の堆積物と考えられる。



No.1ボーリング実施状況

コア写真 No. 5





コア写真 No. 4 (深度 0.0~21.0m)



コア写真 No. 3



岩盤ボーリング柱状図

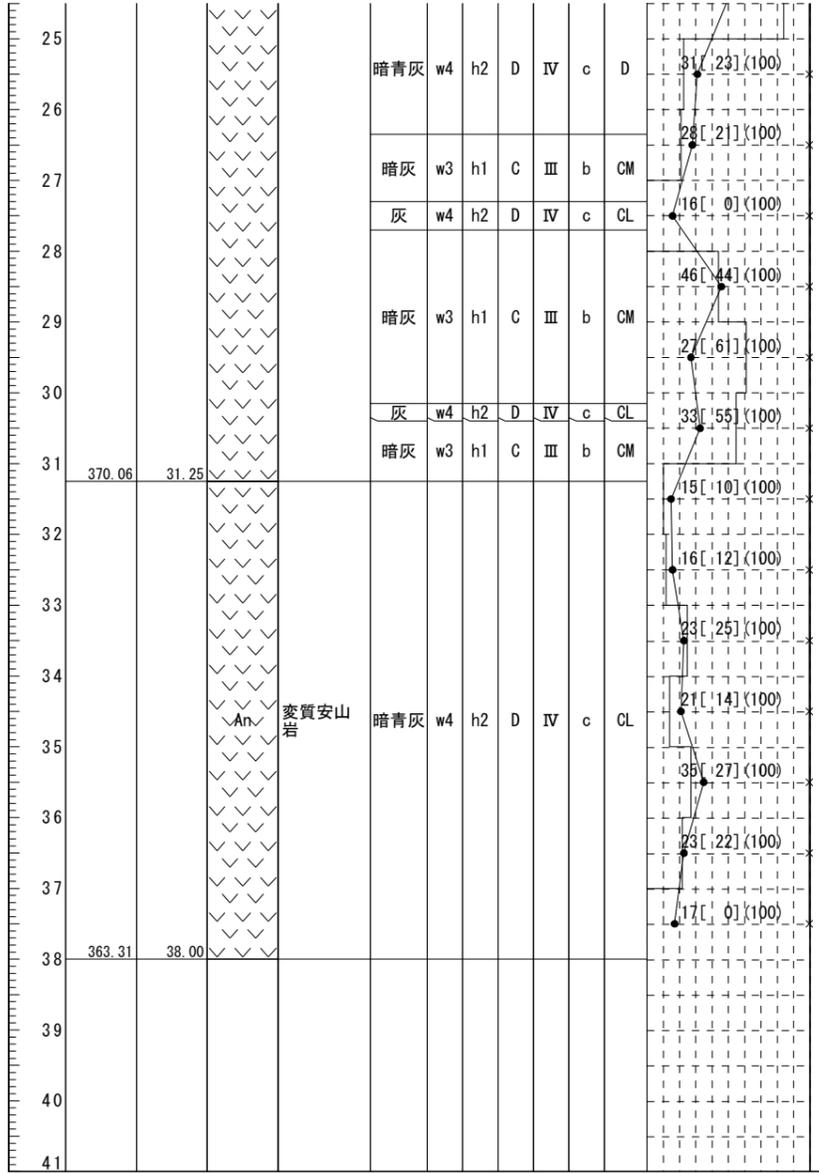
調 査 名 (仮称) 令和3年度逢初川地質調査

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.3	調査位置	静岡県熱海市伊豆山地先	北 緯	35° 07' 18.4226"
発注機関	静岡県熱海土木事務所	調査期間	令和3年10月15日～ 令和3年11月 2日	東 経	139° 04' 16.7534"
調査業者名	電 話	主任技師	地質調査技師 登録番号:	現 場 代 理 人	地質調査技師 登録番号:
コ ー ア 鑑 定 者	地質調査技師 登録番号:	ボーリ ン グ 責 任 者	地質調査技師 登録番号:	コ ー ア 鑑 定 者	地質調査技師 登録番号:
孔口標高	H=401.31m	角 度	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	38.00m	地盤勾配	0° 鉛直	使用機種	試錐機 YBM-05DA-2 エンジン NFAD-8
				ポンプ	V5-P

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	硬 軟	コ ー ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	岩 級 区 分	コア採取率 最大コア長 RQD [%]	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原 位 試 験	室 内 試 験	削 孔 状 況										
															深 度 - N 値 図	N 値	深 度	打 撃 回 数			50 回の貫入量	自 沈 時 の 貫 入 量	削 孔 速 度 (cm/h)	削 孔 径 (mm)	孔 壁 保 護	給 水 量 (MPa)	回 転 数 (MPa)	送 水 量 (MPa)	削 水 量 (L/min)	排 水 量 (L/min)	
1	400.71	0.60	BSGM	盛土(シルト質礫)	褐						VII	3[0](100)	φ=10~30mmほどの垂角礫~角礫を主体とする。基質はシルト分を多く含む中砂~粗砂である。	10/35								10/15	85	1	80	1	W2	4	4		
2											VI	4[0](100)											300	1	80	1	W2	4	4		
3												10[0](100)	φ=5~10mmほどの垂円礫~垂角礫を混入している。砂分は細砂~中砂が主体である。全体に湿潤で軟らかい。コアは、指で容易に潰すことができる硬さである。所々に小さな木根を混入している。	10/26																	
4												3[0](100)											60	1	80	1	W2	4	4		
5												4[0](100)											100	1	80	1	W2	4	4		
6												5[0](100)	GL-2.3~2.4m, 2.6~3.6m, 4.6~5.0m, 5.9~6.2m, 7.0~7.3m, 7.8~8.7m, 8.9~9.1m, 9.6~10.1m間は礫分や細砂~中砂の混入が多い。																		
7												2[0](100)	GL-2.6~3.6m間には、プラスチック片やレンガ片を混入している。GL-4.0~4.1m間には、プラスチック片が混入している。GL-6.05m付近とGL-8.96~9.7m間には、大きな木片が混入している。																		
8												2[0](100)	GL-1.0m付近、2.0~2.1m間、4.8m付近、9.9~10.0m間には、コンクリート片を混入している。											100	1	80	1	W2	3	3	
9												3[0](100)	GL-10.1~10.4m, 10.7~10.75m, 11.8~11.9m間は、硬質な安山岩の玉石である。											10/16	100	1	80	1	W2	4	4
10												7[0](100)											100	1	80	1	W2	3	3		
11												9[0](100)											10/18	200	1	80	1	W2	3	3	
12	389.36	11.95	BSM	盛土(礫・砂混じりシルト)	暗褐							2[0](100)											200	1	80	1	W2	3	3		
13												11[0](100)	玉石を混入する砂礫である。基質はシルト分を多く混入する中砂~粗砂である。全体に固結気味である。礫はφ=5~30mmの垂角礫~角礫を主体とし、玉石はL=10cmほどである。											10/19	100	1	100	1	W2	3	0
14	386.81	14.50	GM	シルト質礫	暗褐							17[0](100)	玉石は、硬質な安山岩からなるが、キレツは認められる。GL-13.9~14.0m間は、軟らかな礫混じりシルトであるが、中砂も少量混入している。小さな木根も混入している。											100	1	100	1	W2	5	5	
15												8[0](100)	玉石は、硬質な安山岩からなるが、キレツは認められる。GL-13.9~14.0m間は、軟らかな礫混じりシルトであるが、中砂も少量混入している。小さな木根も混入している。											150	1	100	1	W2	5	5	
16												15[0](100)	粘土状~砂状~礫状コアで採取される。岩芯まで風化・変質しているが、岩構造は認識できる。コアは指で容易に潰すことができる。GL-16.35~16.9m間は、やや硬いコアで採取されるが、横キレツが発達している。											60	1	100	1	W2	5	5	
17	384.06	17.25	An	強風化安山岩溶岩	褐灰	w5	h2					20[30](100)											10/22	100	1	100	1	W2	5	5	
18												30[44](100)											100	1	100	1	W2	5	5		
19												62[90](100)											10/23	75	1	100	1	W2	5	5	
20												62[96](100)											75	1	100	1	W2	4	4		
21												58[56](100)	硬質な短柱状~棒状コアで採取される。斜め・縦キレツは認められ、開口しているものもある。GL-18.0mまでは、キレツ面が褐色化している。											86	1	100	1	W2	4	4	
22												24[31](100)	GL-17.9~18.7m間は、やや変質しており、カッターナイフで小さく削ることができる。GL-20.3~21.7m, 24.5~26.35m, 27.3~27.7m, 30.15~30.35m間は、暗青灰色~青灰色の色調を呈し、やや軟らかいコアが主体である。																		
23												21[54](100)											133	1	100	1	W2	4	4		
24												28[19](100)	コアは指で潰すことはできないが、カッターナイフで削ることができる。											46	1	100	1	W2	4	4	

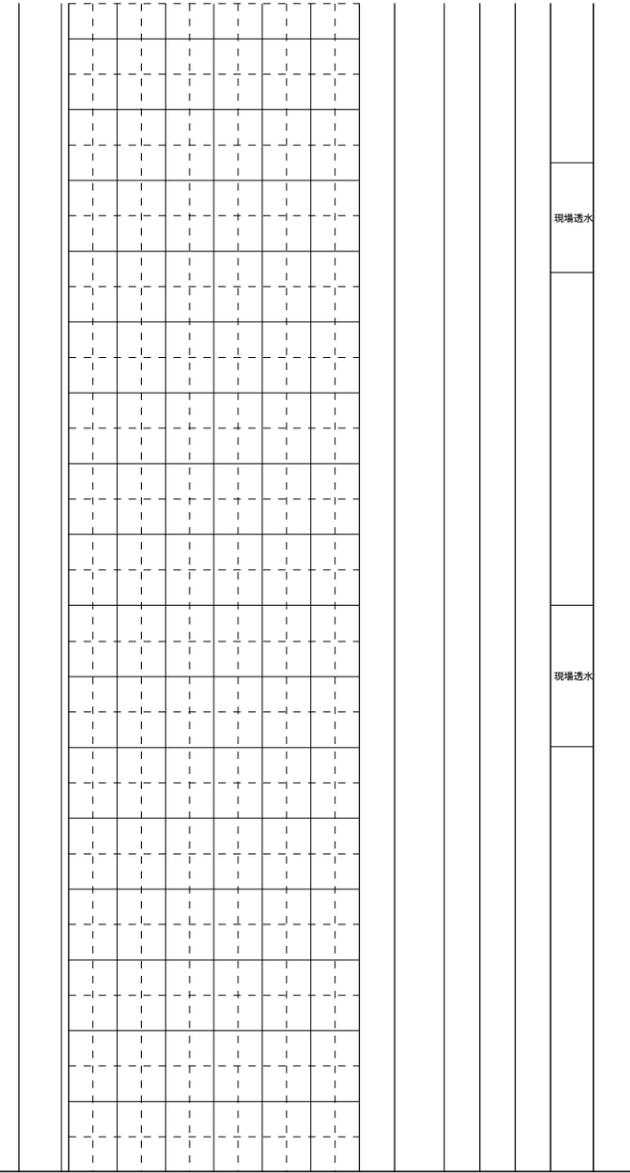


GL-23.7~24.0m間はキレツが多く、礫状コアとなる。小さな黄鉄鉱片や石英脈を混入している。

礫状~短柱状コアで採取される。粘土棒状コアのように採取される部分でも、指で潰すと礫状や板状となる。やや硬いコアであっても、カッターナイフで削れるほどの硬さである。

細かいキレツは認められるが、大半は密着している。
 GL-31.25~31.4m、33.85~33.95m、34.15~34.5m、34.6~34.9m間は、白灰色の色調をていしている。

GL-36.4~36.65m間は、薄く紫灰色を帯びている。
 GL-37.0~37.4m間は、暗灰色~紫灰色を帯びている。



86	1	100	1	2	4
100	1	100	1	W2	4
86	1	100	1	W2	4
75	1	100	1	W2	4
100	1	100	1	W2	4
100	1	100	1	W2	4
100	1	80	1	W2	3
86	1	80	1	W2	3
86	1	80	1	W2	3
100	1	80	1	W2	3
100	1	80	1	W2	3
86	1	80	1	W2	3
86	1	80	1	W2	3
133	1	80	1	W2	3

83 / ケーシング

ダブル / DC

コア写真 No. 2



コア写真 No.1

